



学校だより 12月号

石川小学校スローガン

「みどり・ふれあい・すこやか 笑顔いっぱい 石川の子」

令和元年11月29日

横浜市立石川小学校

校長

寺園 淳

経験を重ねることで

校長 寺園 淳

校長室から外を眺めると、青空が空いっぱいに広がっています。こんな日は思わず散歩がしたくなります。2年生が遠足で野毛山動物園に出かけた日も秋晴れの穏やかな日でした。遠足は出発の会から始まります。司会の子どものリードでめあてを確かめたり、引率の教員を紹介したりしながら会は進んでいきました。このとき私が感心したことは、司会の子どものメモなどを見ずに会を進行していたことです。さらにお弁当を食べるときも同様に、担当の子が進んで注意事項を伝えていました。この日の主な活動は、グループごとに園内を探検すること、モルモットやハツカネズミ等とふれあうことです。園内の探検は絵地図を頼りに、事前に決めた順番でポイントとなる動物たちを見学して回ります。このようなグループ活動のときによく起こることが、友達とのトラブルです。「そっちじゃないよ、こっちだよ。」とか、「なんで先に行っちゃうの。」などの言葉が聞こえ、グループがバラバラになることがあります。しかし石川の2年生は違いました。グループの子どもたちがまとまって行動し、めあての一つにある「みんなで協力する」ことを実践していました。これは子どもたちが主体的に活動に取り組んできた成果だと考えます。そして、この活動をじっくりと見守ってきた担任の指導の成果でもあります。



今年、3年生が南区の代表として、横浜市立小学校体育実技発表会（11月30日）にマット運動の演技で出演します。子どもたちは得意な技（前転や側方倒立回転など）を増やすため、また身体の柔軟性を高めるために6月から一生懸命に練習を重ねてきました。夏休みには特別練習にも取り組み、暑さにも負けず正確に技ができるように、友達と動きを見合いながら教え合う姿が見られました。よりよい演技に仕上げるためには一人ひとりが技を正確に行ったり、技を繰り返すタイミングを友達と合わせたりすることが必要です。一人ひとりが満足できる演技に仕上げるために頑張ってもらいたい。発表会に向けて保護者の皆様には、多大なるご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございました。明日、子どもたちは最高にすてきな演技を見せてくれるはず。また、発表会に向けて取り組む3年生に対して、児童代表委員会から全校で応援したいという声が上がりました。そして発表会まであと3週間と迫った日、応援メッセージが中央階段に掲示されました。なんと素晴らしい子どもたちでしょう。私にはこのような経験はありません。校長として、石川の子どもたちの成長にますます期待を寄せています。

